

さくらFM「世界のみんなとつながろう!!」は、ポルトガル語と中国語を話す住民の方向けに、西宮での生活に役立つ情報や防災についての情報をお届けする番組です。

放送 土曜日 午後10:00-10:15

ポルトガル語放送 **Corações Unidos** 10月の放送より

昨年秋の世界的経済危機は日本で働くブラジル人にも深刻な影響を与えました。多くの方が仕事や住む所を失い、またブラジル学校への学費が払えず退学し、学校へ通っていない子供達もいます。このような生活に困窮を極めている外国人労働者への支援を行ってられる甲南女子大学准教授リリアン・テルミ・ハタノさんにお話をうかがいました。

リリアン・テルミ・ハタノさん（甲南女子大学准教授）へのインタビュー

Q：甲南女子大で在日ブラジル人への支援をされているとお聞きました。

A：昨年以来の経済危機で、秋頃から森田勝昭先生が中心となって準備をし、昨年12月から具体的なプロジェクトとして活動を始めました。

Q：もともとはブラジル人を特定していたわけではないのですか？

A：そうなのです。最初はホームレスの方々への食糧支援から始めました。その後、ブラジル人の困窮状況について知り、多文化コミュニケーション学科にはブラジルに関心をもつ学生もあり、多文化共生という面からも何かしたいという思いで、活動を始めました。

Q：具体的な支援活動とは？

A：まずは食料品や毛布の寄付を募り、それを失業者の方々へ配布しました。それからお金の寄付も集めるようになり、失業者やブラジル学校の子供たちへの支援を始めました。この周辺にはブラジル学校はないので、滋賀や愛知、浜松などへ寄付をしました。

Q：物質的・財政的な支援ということですね。

A：昨年は本当に緊急的な活動でした。今もそういう支援は続けていますが、そろそろ1年がたち、より継続的な支援をするためにはどうしたらよいか、今後の方向性について検討されています。ちょうどインフルエンザの流行が懸念されているので、うがいの仕方とか手の洗い方などを 学生がポルトガル語に翻訳してマニュアルを作成し、それを滋賀県などの学校に配布しています。これがひとつ新しい取り組みです。

Q：活動は大学の先生方と学生さんのようですが、支援は団体を通じて届けるのですか？

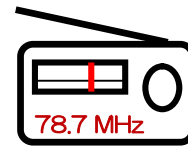
A：そうです。私がブラジル人ですので、そういうネットワークも利用し、特に公的な機関との接点が少ない方々にも支援を届けられればと思っています。



私たちがお届けしています。  
手に持っているCDはブラジル・アマゾン河の河口都市ベレン出身のジョゼ・ピニエイロの「SABEDORIA POPULAR 時間(とき)の河」です。みなさん、今年はアマゾン日本人移住80周年記念の年だということをご存知ですか？

# 世界のみんなとつながろう!!通信

中国語放送与世界心心相连 11月の放送より



11月は、山東省から来日された侯琪さんをゲストにお迎えしました。侯さんは、今年5月に結婚で来日されましたが、その後7月に中国に一度里帰りされ、再び9月から西宮で生活されています。日本での生活は、まだ始まったばかりですが、いろいろお話をうかがいました。

写真は、左から張春燕さん、瀬戸口美和子さん、侯琪さん、季穎さん

■来日されて日は浅いですが、日本にどんな印象をお持ちですか？

一番に感じたのは、日本人は礼儀正しいと思いました。ある時自転車で出かけたんですが、四つ辻では、一方が道を譲り、そのあと相手は、頭をさげて謝意を表す。すばらしいと思いました。

また、西宮の環境について、特にゴミの分別処理が、印象深いです。とてもいいことだと思いますし、私はゴミを細かく分別することを煩わしいとは思いません。今回テーマの「リサイクルプラザ」には、まだ行ったことがありません。\*1) そのほか、印象深いのは、交通秩序が非常に保たれていることです。渋滞は少ないですし、信号での混乱もありません。皆ルールをよく守っています。小さい子供が自転車で街へ出ているのを見たときはびっくりしました。これは交通秩序がいいことを物語っていますね。子供が街で自転車に乗ることができ、のびのびとしているのは、とてもいいと思います。

\*1) 11月は西宮市の粗大ごみの展示・活用施設「リサイクルプラザ」を紹介しました。



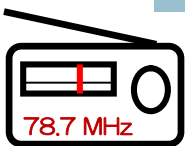
■侯さんは山東省青島近郊、高密の出身とお聞きしましたが、高密は剪紙(切り紙)で有名ですよ？！

高密の剪紙(切り紙)はとても有名です。それから、凧も有名です。その他、食べ物で有名なのは、高密炉包です。とても歴史のある食べ物で、とても美味しいです。中に入れる餡(具)は、いろんな種類があって、それぞれの好みによって味付けします。とても美味しいですよ。とても有名な食べ物ですから、ネットで探せば、すぐ分かります。この高密炉包は、私達の故郷では、ごく普通の料理で、誰もが作ります。私も作れます。機会があれば皆さんにご紹介したいですね。その他、高密の名産は、高密泥塑(泥人形)、扑灰年画などもあります。

■日本での生活には慣れましたか？ 今一生懸命日本語を勉強されているとお聞きしましたが、どこで勉強されているのですか？

まあまあ何とか、言葉が通じない以外は、生活の面では、食べ物も含めて慣れました。今、西宮市国際交流協会日本語を勉強しています。毎週木曜日に来て、2種類の授業を受けています。午前中は、教室で先生の授業を受け、午後は、マンツーマンの授業を続けて受けています。

教室での授業は、いつも5-6人のクラスメートと一緒にです。イギリス人、アメリカ人、フィリピン人、韓国人もいます。皆さんとお話もします。当然(共通語の)日本語で話しますが、皆勉強し始めたばかりなので、まだ日本語があまり上手じゃなく、お互いコミュニケーションをなかなかうまくとれません。英語を話す人達は、英語でしゃべったりもしますが、私は、英語は、すこししか話せないのでし・・・ちょっと不便ですね。



侯さん、いろいろお話ありがとうございました！これから日本で楽しく過ごされるようお祈りしています。

★★★★★★★★★★★★★番組へのリクエストやご感想をお待ちしています！★★★★★★★★★★★★★★★★★

財団法人西宮市国際交流協会 〒662-0911 西宮市池田町11番1号 フレンテ西宮4階  
Tel: 0798-32-8680 Fax: 0798-32-8678 Mail: nia@nishi.or.jp  
ホームページでも放送を聴くことができます <http://www.nishi.or.jp/homepage/nia/radio/>